



よむ

おはなしを たのしもう。

ゆうやけ

もりやまみやこさく
たかみやえこえ

きつねの こが

あたらしい ズボンを はきました。

いろは、まえのと おなじ あかですが、

ひとまわり おおきくて、

ポケットが ふたつも ついて います。

「いいな。とっても いい。」

きつねの こは、

おがわの みずに

すがたを うつつして、

うつつりしました。

みずあそびを しようかと

おもいましたが、ズボンを

よごしたく なかったので、やめました。



▲ズボン

▲ポケット

おひるすぎ、

くさはらへ でかけて いくと、

くまの こと、

うさぎの こに あいました。

きつねの こは、

どっちかが、ズボンに

きが ついて くれると

いいのにと、おもいました。

けれど、にひきとも、

あそぶ ことに おちゅうで、

ズボンには、

すこしも きが つきませんでした。

なかまいりして あそぶ うちに、

きつねの こも、ズボンの ことを

わすれて しまい、ころげまわったり、

とびはねたり しました。

やがて、ゆうがたが きて、

そらいちめん、

ひのような ゆうやけが ひろがりました。



「そらが まっかだね。」

「きつねくんのズボンのいろだね。」

くまの こと、うさぎの こが、

きつねの この ほうを みました。

そして、

「あ、そのズボン。」

「あたらしいズボンだね。」

くちぐちに こえを あげました。

「うん、ちよっと おっきいけど。」

きつねの こは、

りょうてを ポケットに つっこんで、
にっこりしました。

「いいよ。とっても いい。」

くまの こが いうと、

うさぎの こも うなずきました。

さんびきは、ゆうやけの したを、

かたを ならべて かえりました。

ながい かげぼうしが、

あとから ついて いきました。



▼いちばん すきなところはどこですか。

すきなところを、こえに だして よみましょう。

▼この おはなしには、だれが でて きましたか。

▼さんびきに なった つもりで、つぎの ことばを

こえに だして よみましょう。

「あ、その ズボン。」

「あたらしい ズボンだね。」

「うん、ちよっと おっきいけど。」

「いいよ。とっても いい。」



▼きつねの こと、にて いるなど おもった ところは ありますか。

じが じょうずに
かけた とき、おおた
さんが きが ついて、
うまいねと いて
くれました。

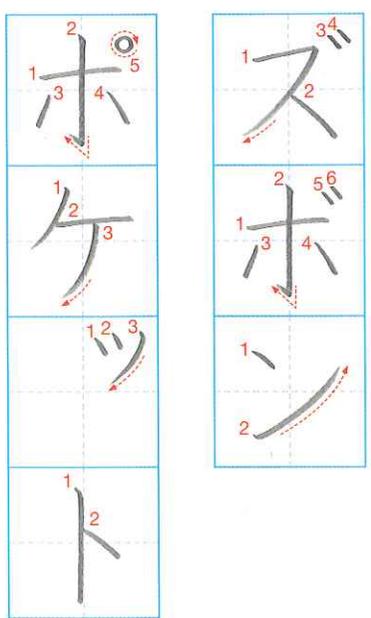


ぼくも、あそんで いると、
おもって いた ことを
わすれて しまいます。



「ゆうやけ」は、この おはなしの
だいめいです。

おはなしを つくった ひとを、その
おはなしの さくしゃと いいます。

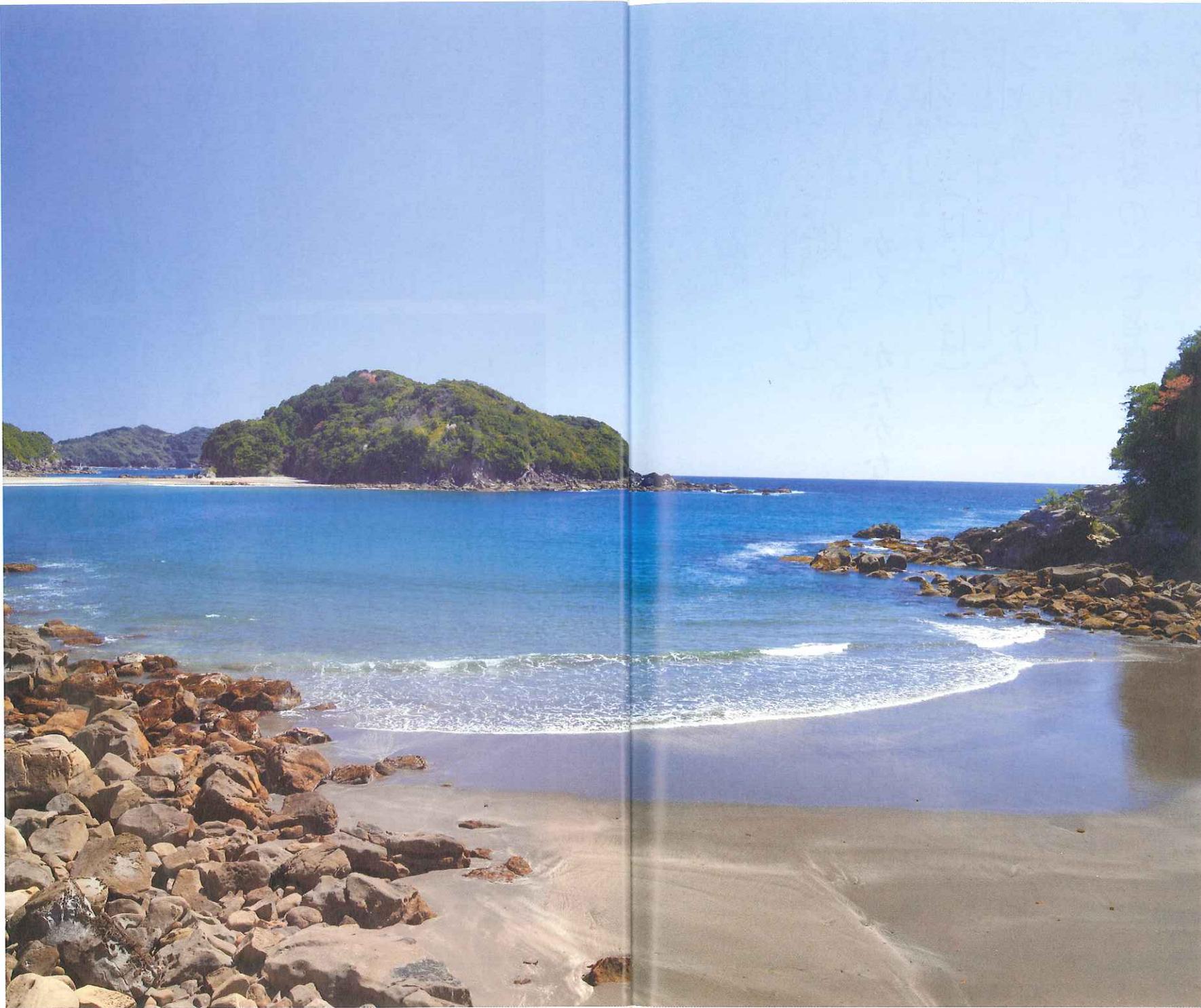




よむ

よんで たしかめよう

うみの かくれんぼ



うみには、いきものが
かくれて います。
なが、どのように
かくれて いるので
しょうか。

はまぐりが、すなのなかに
かくれて います。

はまぐりは、大きくて
つよい あしを もって います。
すなの なかに あしを のばして、
すばやく もぐって かくれます。



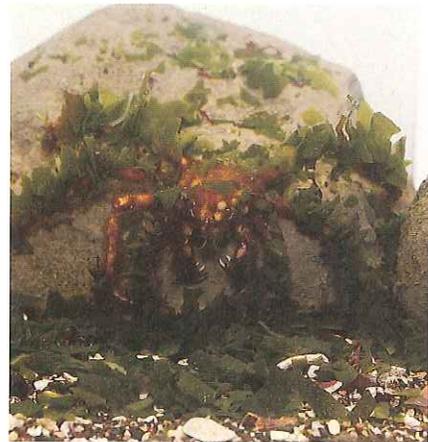
。大きい

たこが、うみの そこに
かくれて います。

たこは、からだの いろを
かえる ことが できます。
まわりと おなじ いろに なって、
じぶんの からだを かくします。



かのに なかまの もくずしよいが、
 いわの ちかくに かくれて います。
 もくずしよいは、はさみで、かいそうなどを
 小さく きる ことが できます。
 かいそうなどを からだに つけて、
 かいそうに へんしんするのです。



小さい

▼うみの いきものは、どんな
 かくれんぼを して いましたか。
 ともだちと はなしましょう。
 ・なにが、どこに かくれて
 いましたか。
 ・どのように かくれて
 いましたか。

大 大大大 おお 大きい
 小 小小小 ちい 小さい

